

令和6年度 第4回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和7年2月27日（木）18:30～20:15
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 8名…加藤、小串、笥、小池、高澤、丸岡、山岸、村野
欠席者 1名…石黒
事務局 2名…地域コミュニティ支援課 山岸、松本
指定管理者 2名…NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 吉永、茂澤
傍聴者 0名

配布資料 1 利用状況、利用者の声
2 のたろんフェア 2025 報告
3 令和7年度（2025年度）事業計画について
4 令和7年度運営懇話会日程（案）

1 報告事項

1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び地域コミュニティ支援課から、資料1に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・ 令和6年4月から1月までの利用者数は、2万5,511人、前年度比104.20%の微増、利用団体数は6,785団体であり、前年度比101.01%の微増の利用状況であった。
- ・ データベース登録団体数は、1月末時点で772団体であった。
- ・ 講座開催実績について、4月から1月までの自主講座開催の受講者数は52名、フリープラン講座は45名であった。自主講座開催については、受講がなかった月があり、課題と認識している。
- ・ 4月から1月までのコピー機の料金収入は503,580円であり、前年度比で115.98%の増加、印刷機の料金収入は975,828円であり、前年度比で92.13%の減少であった。コピー機や印刷機に対するニーズのあり方が変わっていると思われる。
- ・ 市民活動サポートセンターコーナー別利用者推移は、パソコンコーナーと多目的ルームの利用が少ない傾向であった。
- ・ 曜日・時間別推移は、20時以降の利用が少ない傾向は続いており、利用を促していきたい。
- ・ 分野別利用者推移は、「文化・芸術・スポーツ」の分野の方の利用が多い傾向となっている。
- ・ 令和5年度と6年度の4月から1月全体の傾向として、月曜日と金曜日の利用が少なくなっている。
- ・ コロナ禍前の令和元年度は、金曜日の利用は割と多い傾向にあった。コロナ禍以降、傾向が変わっていることがわかる。
- ・ 利用者の声のうち、以下について意見があった。

（11月）

- ・ 市民活動サポートセンターの25周年に関する感謝やお褒めの言葉をいただいた。

- ・ポスターを掲示できる期間が短いという意見があった。現在のルールは最大3か月であり、より多くの団体の活動を紹介するにあたっては、3か月が妥当と考えています。長い期間掲示したい気持ちはごもっともであるが、多くの団体に幅広く活用していただきたいと考えている。

(12月)

- ・書架について、良い書籍とでであることができたという話があった。
- ・利用者は弁当の容器を市民活動サポートセンターで捨てることができるが、最近では、自治会などでも、ご自身が持ち帰るようにしているので、市民活動サポートセンターも同じく持ち帰るようにしてみてもという意見があった。うれしいご意見であるが、マナーの良い利用者が多く、ゴミの分別をしっかりともらっている。また、捨てる際は容器の汚れをとってくれて、衛生面でも問題はないため、引き続き、今の運用でいきたい。

(1月)

- ・行事を行う場所がミーティングコーナーの場合は、入口からミーティングコーナーまでの距離が少しあり、また奥まっているので、初めて市民活動サポートセンターにきた方は迷ってしまう。そのため、入口で案内を出させていただきたいという打診があったが、掲示物が多くなることから、各団体個別の掲示はしていない。受付横の予約状況表を見ただけでか、複数の方が来館される可能性がある場合は団体内で誘導係を決めていただくなど工夫いただけるよう、協力を仰ぐ回答とした。

(地域コミュニティ支援課：久里浜について)

- ・4月から1月の利用者数合計は702人、利用団体数合計は292団体でした。前年度との比較では、利用者数は8.3%増、利用団体数は2.4%増でした。
- ・コピー機・印刷機収入の4月から1月の合計は、コピー機料金収入は29,390円であり、前年度との比較で12.6%増、印刷機は53,080円であり、前年度との比較で4.96%減であった。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・入口に触図があるが、目に入りにくい。子どもに触ってもらいたいという趣旨であるが、気づきにくいと思う。目に入りやすい場所にしたらいいと思う。
→場所の変更を検討する。また、子どもなどが来館された時に受付で声掛けをするなども行ってみる。(指定管理)
- ・自主講座の受講数が少ないことについてどう考えているのか。また、受講してみたいと思ってもらえる講座を検討すると良いのではないか。例えばであるが、電子年賀状が流行ってきている中、電子年賀状に関する講座も良いと考える。
→曜日や時間が固定しているところに問題があると考えている。固定せず、曜日や時間を変更することで、受講数の増加を図りたい。また、電子年賀状という発想はなかった。受講してみたいという内容を検討したい。(指定管理)
- ・利用者の推移の資料があるが、どのような目的で利用されたのかなどが分かると分析できるのではないか。どのような分析をして、どのような課題を解決したのか、解決するためにはどのような情報が必要なのかを整理してみると良いと思われる。
→おっしゃるとおりである。資料のあり方を検討したい。(指定管理)

- ・ また、同じ建物の産業交流プラザの現状も参考に把握したり、一緒に連携することも良いと思う。
→連携を検討したい。(指定管理)

(事務局からコロナ前の水準まで利用が増えないこと、夜の利用が少ないことについて構成員に問いかけ、それに対する構成員からの意見)

- ・ コロナになり、市民活動サポートセンターの利用制約が生じたが、他の方法で活動を行うことを模索し、実施してきたが、他の方法でも行うことができた。
- ・ 仕事の残業などで疲れている中、夜の利用が体力的に厳しいという面もあると思う。
- ・ 利用者を増やすという意味合いでいえば、他の施設にはない市民活動サポートセンターの強み(駅から近い、施設が充実している、会議にお金が生じないなど)をもっと見出すと良いと考える。強みの例として、例えば、レターケースを郵便ボックスとして利用できるなど。
- ・ そもそも市民団体が何を求めているのかを整理することも良いと考える。

2 のたろんフェア 2025 報告について

指定管理者から、資料3に沿って報告した。

3 令和7年度事業計画について

指定管理者から、資料4に沿って報告した。

- ・ 市民活動団体のメンバーの高齢化となる中、SNSの運用をどうするべきかは考えた方が良い。利用できない方は多いと思われる。
→スマホ講座などといったものは引き続き実施していく。(指定管理)
- ・ 以前までは情報のプッシュ型であったが、今はプル型である。横須賀市の公式LINEの使い方が分からない人もいる。また、そこまでSNSを駆使しなくてもよいと考える高齢者もいると思われる。一式にすべてをSNSで運用していくことについては、慎重に考えた方が良い。
→これらのご意見をふまえて検討したい。(指定管理)

2 議題

4 データベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料4に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

3 その他

令和7年度運営懇話会日程(案)について

地域コミュニティ支援課から資料5に沿って提案

現構成員の任期が今年度で終了する為、令和7年度第1回の本懇話会であらためて提示することとなった。